



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 田代 芳孝

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	90,683	31.4	2,864	120.7	2,865	140.6	1,703	161.0
22年3月期第2四半期	69,025	△37.3	1,297	△76.0	1,190	△78.0	652	△80.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	60.59	—
22年3月期第2四半期	23.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	57,461	36,812	64.1	1,309.20
22年3月期	56,433	35,574	63.0	1,265.15

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 36,812百万円 22年3月期 35,574百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
23年3月期	—	12.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	11.9	5,500	15.5	5,700	14.9	3,500	19.8	124.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 28,908,581株 22年3月期 28,908,581株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 790,346株 22年3月期 790,195株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 28,118,269株 22年3月期2Q 28,118,980株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2.	その他の情報	P. 4
(1)	重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3.	四半期連結財務諸表	P. 5
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 5
(2)	四半期連結損益計算書	P. 7
	【第2四半期連結累計期間】	P. 7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4)	継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5)	セグメント情報	P. 9
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、景気の持ち直し傾向が見られたものの、欧米の景気回復の遅れを背景に急速に進行した円高による景気の下振れ懸念や、株安、デフレの影響など、依然として厳しい環境で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、貴金属関連事業および食品関連事業において、それぞれの顧客ニーズに対応した積極的な営業活動により損益の改善に努めてまいりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

貴金属部門では、主力顧客である半導体・電子部品業界において一部に在庫調整の動きが見られたものの、通信・IT製品に対する新興国や日本国内の旺盛な需要を反映し、生産が総じて好調に推移しました。これを受け、当社の貴金属化成品等の販売量や貴金属原材料回収も引き続き高水準を維持しました。また、貴金属相場も上昇しており、売上高は前年同期に比べ大幅増となりました。

環境部門でも、製造業顧客の減産に伴う排出量の減少が底打ち傾向となり、取扱量は前年同期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は 69,410百万円（前年同期比37.6%増）、営業利益 2,507百万円（同132.2%増）となりました。

#### 食品関連事業

食品関連事業では、デフレと厳しい雇用環境が継続し低価格志向が強まる一方、世界的な食材の値上がりという厳しい事業環境となっています。このような状況下で、すりみなどの水産品は在庫調整の進展と価格の下げ止まりにより、売上高は前年同期に比べ増加しました。また鶏肉等の畜産品、野菜類等の農産品も主に数量増により売上高が増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は21,302百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益 357百万円（同63.8%増）となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高 90,683百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益 2,864百万円（同120.7%増）、経常利益 2,865百万円（同140.6%増）、四半期純利益 1,703百万円（同161.0%増）となりました。

なお、第1四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。これによる報告セグメントは前年度の事業の種類別セグメントと同一であるため、前年同期比較を行っております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期末の総資産は、前年度末に比べ 1,027百万円増加し57,461百万円となりました。これは現金及び預金の減少はありましたが、売上債権・棚卸資産の増加に加え有形固定資産取得によるものです。

##### (負債)

当第2四半期末の負債合計は、前年度末に比べ210百万円減少し20,648百万円となりました。これは主として借入債務の増加を上回る仕入債務及び未払金の減少によるものです。

(純資産)

当第2四半期末の純資産は、前年度末に比べ1,238百万円増加し36,812百万円となりました。これは主として当期の利益等による株主資本の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期中6ヵ月間の営業活動により2,059百万円減少し、投資活動に2,592百万円使用し、財務活動により2,756百万円増加した結果、換算差額後の資金は前年度末に比べ1,929百万円減少し2,174百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期における営業活動により減少した資金は2,059百万円となりました。これは主に売上債権・棚卸資産の増加と仕入債務の減少によるものです。尚、前年同期の1,777百万円の支出に比べ282百万円支出が増加しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期における投資活動に使用した資金は2,592百万円となりました。これは主として土地・建物と精密洗浄設備等の有形固定資産取得によるものです。尚、前年同期の835百万円の支出に比べ1,756百万円増加しました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第2四半期における財務活動の結果増加した資金は2,756百万円となりました。これは主に短期および長期借入金の増加によるものです。尚、前年同期の1,136百万円の減少に比べ3,893百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

貴金属関連事業において貴金属相場の動向は不透明ながら概ねこれまでの高水準が継続すると見られます。また半導体・電子部品業界の活動水準も全般的には回復基調を維持すると見られることから、貴金属製品を中心とする売上は堅調に推移するものと予想しております。

こうした動向を踏まえ、平成23年3月期の通期業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表した予想値から変更しております。当該予想の詳細につきましては、本日公表の「平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせおよび通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は38百万円減少しております。

#### ・四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、第1四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,178	4,107
受取手形及び売掛金	20,396	18,478
商品及び製品	8,122	6,797
仕掛品	419	303
原材料及び貯蔵品	6,375	6,979
繰延税金資産	596	770
未収入金	1,993	2,941
その他	1,602	2,164
貸倒引当金	△34	△33
流動資産合計	41,650	42,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,421	5,168
減価償却累計額	△2,889	△2,779
建物及び構築物(純額)	2,531	2,389
機械装置及び運搬具	4,579	4,436
減価償却累計額	△3,568	△3,390
機械装置及び運搬具(純額)	1,011	1,045
土地	7,690	5,761
リース資産	336	315
減価償却累計額	△117	△82
リース資産(純額)	218	232
建設仮勘定	154	205
その他	620	598
減価償却累計額	△483	△455
その他(純額)	136	142
有形固定資産合計	11,743	9,776
無形固定資産		
その他	987	1,143
無形固定資産合計	987	1,143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,831	1,755
繰延税金資産	223	192
その他	1,217	1,263
貸倒引当金	△192	△208
投資その他の資産合計	3,079	3,004
固定資産合計	15,810	13,924
資産合計	57,461	56,433

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,628	10,741
短期借入金	1,330	30
1年内返済予定の長期借入金	784	290
リース債務	73	67
未払法人税等	923	1,523
賞与引当金	708	632
未払金	1,842	3,528
その他	2,184	2,202
流動負債合計	17,475	19,016
固定負債		
長期借入金	2,313	977
リース債務	144	164
退職給付引当金	295	311
役員退職慰労引当金	396	379
その他	22	10
固定負債合計	3,173	1,842
負債合計	20,648	20,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	30,295	28,929
自己株式	△781	△781
株主資本合計	37,082	35,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	95	126
繰延ヘッジ損益	△71	△41
為替換算調整勘定	△294	△226
評価・換算差額等合計	△269	△141
純資産合計	36,812	35,574
負債純資産合計	57,461	56,433

## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	69,025	90,683
売上原価	62,487	82,348
売上総利益	6,537	8,334
販売費及び一般管理費	5,239	5,469
営業利益	1,297	2,864
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	10	14
持分法による投資利益	—	156
仕入割引	24	31
受取保険金	—	0
その他	19	30
営業外収益合計	55	233
営業外費用		
支払利息	17	25
持分法による投資損失	25	—
支払手数料	3	3
為替差損	113	189
その他	2	14
営業外費用合計	162	232
経常利益	1,190	2,865
特別利益		
固定資産売却益	11	—
貸倒引当金戻入額	—	2
特別利益合計	11	2
特別損失		
減損損失	3	22
固定資産除売却損	10	1
投資有価証券評価損	7	3
投資有価証券売却損	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	37
特別損失合計	22	67
税金等調整前四半期純利益	1,180	2,800
法人税、住民税及び事業税	471	911
法人税等調整額	56	185
法人税等合計	527	1,096
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,703
四半期純利益	652	1,703

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,180	2,800
減価償却費及びその他の償却費	571	563
減損損失	3	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	30	75
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△16	△15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	25	17
受取利息及び受取配当金	△11	△14
支払利息	17	25
持分法による投資損益(△は益)	25	△156
投資有価証券売却損益(△は益)	—	3
投資有価証券評価損益(△は益)	7	3
固定資産除売却損益(△は益)	△1	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	37
売上債権の増減額(△は増加)	△2,244	△1,929
未収入金の増減額(△は増加)	△2,331	949
たな卸資産の増減額(△は増加)	△825	△869
仕入債務の増減額(△は減少)	1,050	△1,097
未払金の増減額(△は減少)	2,281	△1,481
その他	△203	510
小計	△444	△568
利息及び配当金の受取額	15	14
利息の支払額	△17	△25
法人税等の支払額	△1,330	△1,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,777	△2,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△797	△2,571
無形固定資産の取得による支出	△46	△13
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	—	14
その他	16	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△835	△2,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600	1,300
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△170	△170
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△337	△337
その他	△28	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,136	2,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	△35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,685	△1,929
現金及び現金同等物の期首残高	7,888	4,103
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,202	2,174

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	貴金属関連事業 (百万円)	食品関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	50,458	18,592	69,050	(25)	69,025
営業利益	1,079	218	1,297	—	1,297

- (注) 1 事業区分は、商製品の種類、性質、製造・処理方法および販売方法等の類似性等に照らし、総合的に区分しております。  
2 各区分の主な商品、製品  
(1) 貴金属関連事業 …金地金、銀地金、白金族地金、化成品、電子材料、貴金属回収製錬処理、産業廃棄物処理  
(2) 食品関連事業 …水産品、農産品、畜産品およびその運搬

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	68,648	6,315	74,964	(5,938)	69,025
営業利益	1,248	58	1,307	(9)	1,297

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1) アジア …タイ、シンガポール、フィリピン、中国  
3 アジアにおける売上高の金額の重要性が増したことから、所在地別セグメント情報を記載しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	アジア	計
I 海外売上高	11,957	11,957
II 連結売上高	69,025	69,025
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.3	17.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
(1) アジア …台湾、タイ、シンガポール、フィリピン、マレーシア、中国  
3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・商品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・商品・サービス別セグメントから構成されており、「貴金属関連事業」及び「食品関連事業」の2つを報告セグメントとしております。なお、経済的特徴が概ね類似している事業セグメント（「貴金属部門」「環境部門」）を集約して一つの事業セグメント「貴金属関連事業」としております。

「貴金属関連事業」は、貴金属の回収精錬及び貴金属地金、化成品、電子材料等の販売と、産業廃棄物の収集・運搬・処理を行っております。「食品関連事業」は水産品、農産品、畜産品等の食品加工原材料の販売及びその運搬を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,407	21,276	90,683	—	90,683
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	26	28	△ 28	—
計	69,410	21,302	90,712	△ 28	90,683
セグメント利益	2,507	357	2,864	—	2,864

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。